

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公開番号】特開2006-55383(P2006-55383A)
 【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)
 【年通号数】公開・登録公報2006-009
 【出願番号】特願2004-240494(P2004-240494)
 【国際特許分類】

A 4 7 G 9/10 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 9/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月15日(2007.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

うつ伏せでも快適寝用枕であって

胸部上方部、両肩前面部、胸部両側部を同一面に支持するための三日月形の支持面と、額を支持するための額支持面とを有し、前記三日月形之支持面と前記額支持面とが顔面の大きさに合わせた間隔で配置されることによって前記三日月形之支持面と前記額支持面との間に前記顔面を圧迫しないだけの深さを有する切通しになった凹状の顔面周囲空間部が形成されていることを特徴とするうつ伏せでも快適寝用枕。

【請求項2】

請求項1に記載のうつ伏せでも快適寝用枕にあって

三日月形の内側の湾曲から三日月形の外側の湾曲に向かって昇り傾斜が設けられた前期三日月形の支持面を有していることを特徴とするうつ伏せでも快適寝用枕。

【請求項3】

請求項1に記載のうつ伏せでも快適寝用枕にあって

前記額支持面が前記三日月形の支持面の最高位より低くなっていることを特徴とするうつ伏せでも快適寝用枕。

【請求項4】

請求項1に記載のうつ伏せでも快適寝用枕にあって

前記三日月形の支持面の湾曲の中央部に使用者が頭部を支持し仰向けに寝ると前記三日月形の支持面の湾曲の両端部によって、使用者の両肩後面部を支持することが出来る事の特徴とするうつ伏せでも快適寝用枕。

【請求項5】

請求項1に記載のうつ伏せでも快適寝用枕にあって

前記三日月形の支持面の傾斜の最高位は、使用者が三日月形の支持面の湾曲の中央部に頭部を支持し、仰向けに寝た状態から横向きに寝た状態に移行し肩幅分高くなった頭部を支持するだけの高さを有していることを特徴とするうつ伏せでも快適寝用枕。